

やさいマンスリーレポート（令和 3 年 2 月）

発行日：令和 3 年 2 月 5 日

1 野菜の生育状況及び価格見通し〔令和 3 年 2 月〕（農水省調査）

<ポイント>～2月は、はくさいが安値の見込み～

- ・ はくさいは、生育良好により出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回る。
- ・ ばれいしょは、北海道産の貯蔵ものは安定しているものの、12月の天候不順の影響で九州産の生育が遅延しているため、出荷数量は平年をやや下回り、価格は平年を上回る。
- ・ その他は出荷数量・価格ともに平年並みで推移。
- ・ 掲載先：https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/index.html

2 野菜の卸売価格動向〔2月2日 東京都中央卸売市場〕（ALIC 調査）

<ポイント>

- ・ 平年比で価格が上がったものは、ばれいしょ（同 159%）、ねぎ（同 143%）、なす（同 117%）、さといも（同 110%）、にんじん（同 108%）、きゅうり（同 101%）の 6 品目、平年並みであったものは、だいこん（同 100%）の 1 品目、平年比で価格が下がったものは、はくさい（同 46%）、キャベツ（同 63%）、トマト（同 67%）、レタス（同 79%）、ブロッコリー（同 79%）、ほうれんそう（同 82%）、たまねぎ（同 88%）及びピーマン（同 95%）の 8 品目となりました。
- ・ 掲載先（ベジ探）：https://vegetan.alic.go.jp/vegetable_price.html

3 野菜の小売価格動向

（1）主要野菜 14 品目（令和 3 年 1 月分）（9 都市 100 店舗）（ALIC 調査）

<ポイント>

- ・ 調査対象 14 品目のうち、前月比で価格が下がったものは、たまねぎ(前月比 96%)、の 1 品目、価格が上がったのは、キャベツ(前月比 153%)、白ねぎ(同 144%)、青ねぎ(同 121%)、はくさい(同 129%)、ほうれんそう(同 165%)、レタス(同 159%)、きゅうり(同 139%)、トマト(同 105%)、なす(同 116%)、ピーマン(同 109%)、だいこん(同 153%)、にんじん(同 105%)、ばれいしょ(同 109%)の 13 品目となりました。
- ・ 平年比で価格が下がったものは、キャベツ(平年比 79%)、青ねぎ(同 88%)、はくさい(同 68%)、ほうれんそう(同 100%)、レタス(同 68%)、たまねぎ(同 91%)、きゅうり(同 89%)、トマト(同 88%)、なす(同 97%)、ピーマン(同 83%)、だいこん(同 90%)、にんじん(同 99%)、の 12 品目、価格が上がったものは、白ねぎ(同 108%)、ばれいしょ(同 109%)の 2 品目となりました。
- ・ 掲載先（ベジ探）：
<https://vegetan.alic.go.jp/retail-price-trends/price-trend-survey.html>

(2) 主要野菜8品目〔令和3年1月25日の週〕(農水省調査)

<ポイント>

- ・ 調査対象8品目(キャベツ、ねぎ、レタス、たまねぎ、トマト、にんじん、はくさい及びだいこん)の価格は、前週比で-13%~+4%、平年比で-27%~+3%の範囲内となっています。
- ・ 品目別には、キャベツ177円(平年比86%)、ねぎ768円(同103%)、レタス513円(同73%)、たまねぎ235円(同96%)、トマト627円(同81%)、にんじん358円(同103%)、はくさい140円(同74%)及びだいこん159円(同88%)となっています。
- ・ 掲載先：https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/kouri/k_yasai/h22index.html

4 野菜消費動向(令和2年12月)(総務省統計局家計調査)

<ポイント>

- ・ 12月の生鮮野菜の一人当たり購入数量は5496g(前月比104%、前年同期比111%)
- ・ 上位5品目は、はくさい533g(前月比100%、前年同期比119%)、たまねぎ490g(94%、115%)、だいこん481g(96%、107%)、キャベツ471g(95%、108%)、にんじん291g(117%、106%)
- ・ 掲載先(ベジ探)：<https://vegetan.alic.go.jp/vegetan/sch5.do?outPutKbn=1>

5 野菜輸入動向(令和2年12月)(貿易統計)

<ポイント>

- ・ 12月の野菜輸入量：22万7694トン(前年同期比95%)、うち①生鮮野菜5万8129トン(82%)、②冷凍野菜9万7835トン(96%)、③塩蔵等野菜6217トン(95%)、④乾燥野菜4233トン(122%)
- ・ 輸入野菜上位品目は、①生鮮野菜：たまねぎ1万9591トン(89%)、かぼちゃ8577トン(75%)、にんじん7509トン(87%)、ねぎ4281トン(72%)、ごぼう4102トン(94%)、②冷凍野菜：その他の冷凍野菜3万5585トン(105%)、ばれいしょ2万8196トン(81%)、ブロッコリー6336トン(111%)、③塩蔵等野菜：きゅうり及びガーキン1461トン(102%)、しょうが975トン(74%)、れんこん297トン(80%)
- ・ 輸入先国上位国は、①中国13万3980トン(100%)うち生鮮たまねぎ1万9307トン(90%)、生鮮にんじん7369トン(86%)、冷凍ほうれんそう等5666トン(119%)、②米国3万761トン(87%)うち冷凍ばれいしょ2万643トン(80%)、冷凍スイートコーン2508トン(125%)、トマト加工品2426トン(93%)、③韓国4084トン(78%)うちジャンボピーマン1864トン(58%)、その他調整野菜1722トン(119%)、生鮮トマト365トン(79%)
- ・ 掲載先(ベジ探)：<https://vegetan.alic.go.jp/import-export-trends/latest.html>

6 野菜主産地の向こう1か月の気象情報（銚子、伊良湖、洲本等13地点）（ALIC調査）

<1/30～2/26の気象傾向>

- ・ 関東甲信地方 寒気の影響を受けにくいいため、気温は高く、期間の前半はかなり高くなる可能性があります。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込みです。
- ・ 東海地方 気温は、寒気の影響を受けにくいいため高いでしょう。特に期間の前半は、かなり高くなる可能性があります。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込みです。
- ・ 九州北部地方 寒気の影響を受けにくいいため、気温は高いでしょう。寒気や湿った空気の影響を受けにくいいため、降水量は平年並みか少なく、日照時間は平年並みか多いでしょう。
- ・ 近畿太平洋側 寒気の影響を受けにくいいため、気温は高く、期間の前半はかなり高くなる可能性があります。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込みです。
- ・ 四国地方 気温は、寒気の影響を受けにくいいため高く、期間の前半はかなり高くなる可能性があります。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込みです。関東甲信地方 期間の前半に強い寒気の影響を受けるため、気温は平年並か低いでしょう。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込みです。
- ・ 掲載先（ベジ探）：<https://vegetan.alic.go.jp/wp-content/uploads/kaisetsu.pdf>

7 やさいレポート（令和3年2月号）（ALIC調査）

- ・ 緊急需給調整事業の対象の主要野菜6品目（キャベツ、たまねぎ、だいこん、にんじん、はくさい及びレタス）の卸売価格、小売価格、生育出荷、気象、消費、輸入の最新情報をまとめて紹介しています（毎月発行）
- ・ 別添ファイル「やさいレポート」（令和3年2月号）
- ・ 掲載先（ベジ探）：https://vegetan.alic.go.jp/yasai_report.html

8 おすすめやさいレシピ

- ・ 月刊野菜情報で毎月旬の野菜を使った1人分の「おすすめ簡単レシピ」を紹介しています。2月号は「ほうれんそう」「みずな」です。3月号(2月25日発行)は「ばれいしょ」「さやいんげん」です。
- ・ 機構ホームページで、トマト、レタスなど40品目の「おすすめやさいレシピ集」を紹介しています。2月は、はくさいがお買い得の見込みです。
- ・ 掲載先（機構HP）：https://www.alic.go.jp/y-kanri/yagyomu03_000001_00046.html

9 2021年は「国際果実野菜年」です～野菜プラス1皿で健康な生活を維持しましょう～

- ・ 2021年は「国際果実野菜年」です。
- ・ WHOとFAOは、健康な生活の維持のため、野菜と果実をあわせて1人1日400グラム以上摂取することを奨励しています。日本の厚生労働省は、「健康日本21」の中で、1人1日350グラム以上の野菜を食べることを推奨していますが、小皿で1皿分に相当する70グラム不足しています。
- ・ 新型コロナ禍で野菜プラス1皿食べて、免疫力の維持、向上を図りましょう。
- ・ 掲載先（機構HP）：https://www.alic.go.jp/y-kanri/yagyomu03_000001_00148.html

10 国産やさいマッチングサイト“ベジマチ”会員登録募集中

- ・ 農畜産業振興機構では、オンラインで野菜生産者と実需者をつなぎ、交流や商談の場を提供する「国産やさいマッチングサイト“ベジマチ”」を2021年2月1日に開設しました。
- ・ 2月5日時点の登録会員数は148名、うち生産者118名、実需者30名となっており、生産者・団体は、北海道から沖縄県まで30都道府県のキャベツ、レタス等の主要野菜、地域特産野菜、有機野菜、カット野菜など多種多様な品目が出品されています。
- ・ 実需者は、外食業者、中食業者、食品メーカー、小売業者など多様な業種の皆様に会員登録いただいています。
- ・ “ベジマチ”では、オンラインで、「マイページによる商品・経営の情報発信」、「購入希望者や購入希望野菜などの検索」、「メッセージ機能を使った個別商談」、「掲示板を使った商品・経営の情報発信」など、いつでもどこでも無料で行うことができます。
- ・ 2月26日（金）にオンライン商談会を計画しており、今後、月1回の開催を予定しております。
- ・ 登録から利用まで、すべて無料となっておりますので、ぜひご登録、ご活用をお願いします。
- ・ 掲載先（ベジマチ HP）：<https://www.vegemach.jp/>

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理課、野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793